

各位

2025年5月22日
株式会社日本総合研究所
日本イーライリリー株式会社

別添資料

<アンケート調査概要>

調査仕様	調査名(回答者への表示): ビジネスケアラー・ワーキングケアラー向け定量調査 調査地域: 全国 調査対象: 家族の介護をしている会社員 サンプルサイズ・割付: 1,000名 調査手法: インターネットアンケート 調査時期: 2024年12月2日~12月6日
------	--

<主要なアンケート調査結果(一部抜粋)>

※以下すべて、日本総研実施アンケート調査結果を基に作成。

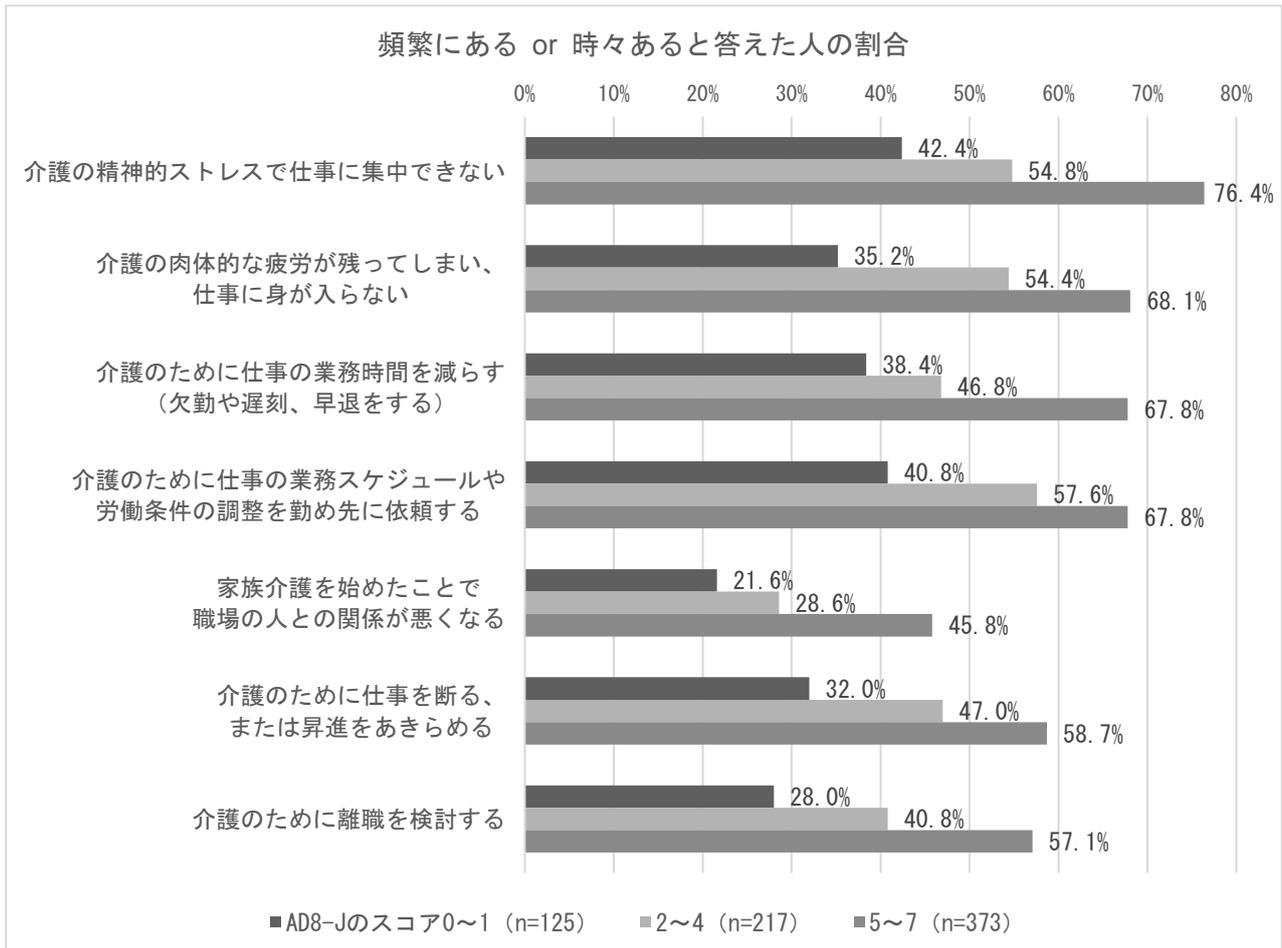
※全設問および回答については、日本総研ウェブサイト(<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/pdf/company/release/2025/0522-2.pdf>)をご参照ください。

【介護をしている家族の認知機能状況 × 介護による仕事への影響】

(介護を受ける家族が)認知機能障害が重度の人ほど、介護にあたって「仕事に影響がある」と答える人の割合が高い。認知機能が低下していないAD8-Jのスコア0~1の人に比べ、認知機能障害が見られるスコア2~4の人、認知機能障害が重度である5~7の人の方が、介護にあたって「仕事に影響がある」と答える人の割合が高い。

※介護をしている家族の生活場所:同居ありと答えた人のみ(n=714)

・家族の介護に対して、下記の仕事への影響がどの程度の頻度でありますか。(単回答)



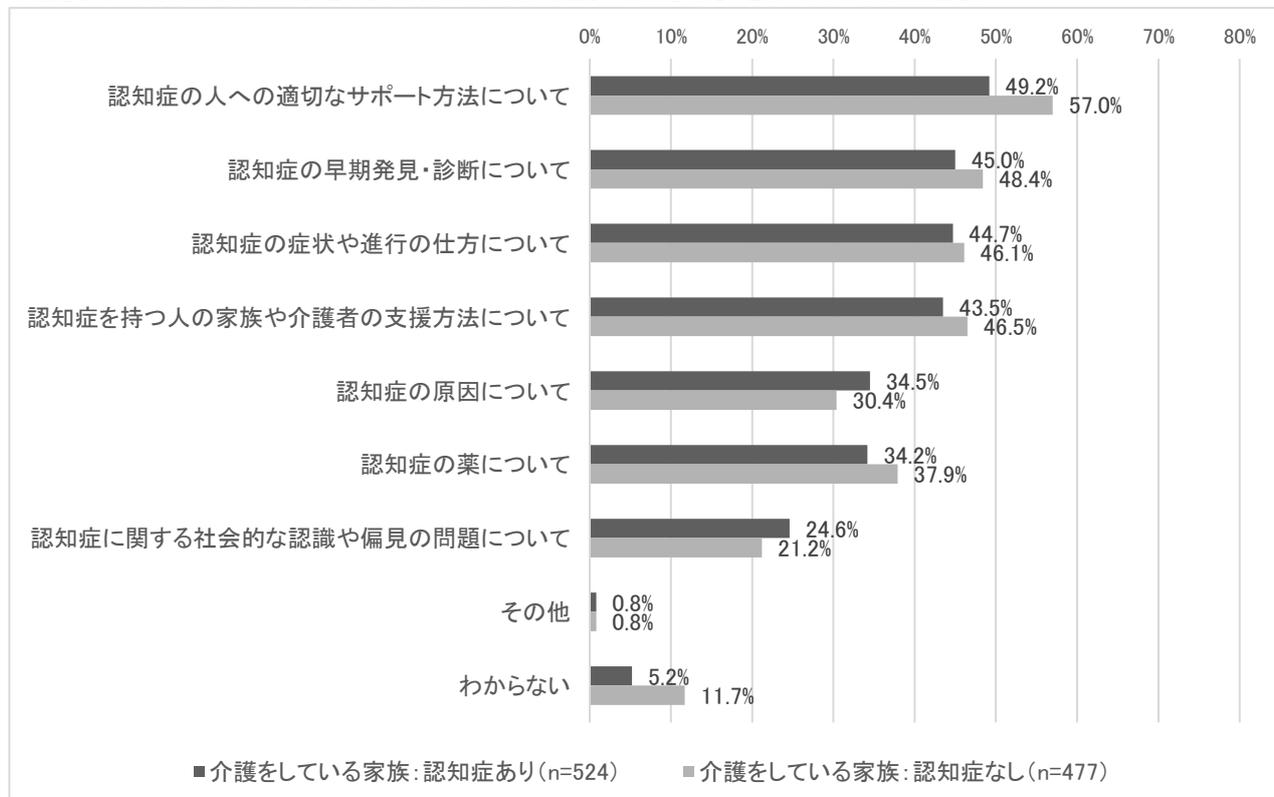
AD8-J: 家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI(軽度認知障害)

もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。**【得たいと考える認知症に関する知識】**

認知症の家族を介護している人があれば良かったと考える、または認知症の家族を介護していない人が得たいと思っている認知症関連の知識としては、認知症に対するサポートの知識(「認知症の人への適切なサポート方法について」、「認知症を持つ人の家族や介護者の支援方法について」)や認知症そのものの知識(「認知症の早期発見・診断について」、「認知症の症状や進行の仕方について」、「認知症の原因について」)という回答が多かった。

・介護をしている家族が認知症あり: 過去を振り返って、どのような認知症に関する正しい知識があれば良かったと思いますか。(複数回答)

・介護をしている家族が認知症なし: どのような認知症に関する正しい知識を得たいと思いますか。(複数回答)



【認知症家族介護に関して企業に求める制度】

認知症家族介護に関して企業に求める制度として、認知症のサポートに関する制度(「家族介護を支援する制度の周知の機会」、「家族の認知症を早期発見・診断するための支援」)や認知症そのものの理解に関する制度(「正しい認知症を学ぶ機会」)という回答が多かった。

・あると望ましいと考える認知症の家族の介護に関連する従業員向けの制度や支援は何ですか。(複数回答)

